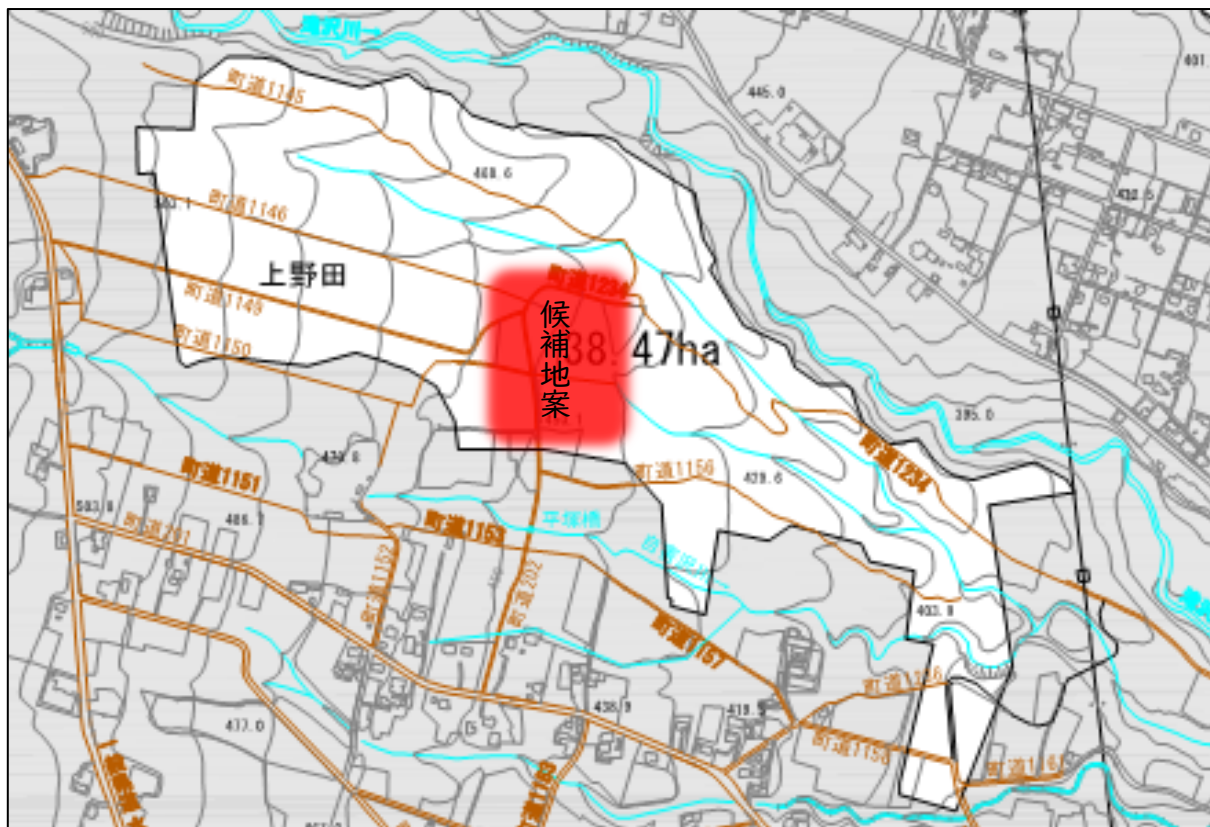


渋川地区広域市町村圏振興整備組合最終処分場候補地案の決定について

標記について、令和4年9月29日付渋川地区広域市町村圏振興整備組合管理者より送付のあった「渋川地区広域市町村圏振興整備組合次期最終処分場候補地の更なる絞り込みについて（報告）」について庁内協議を行った結果、妥当であると判断し、町として「上野原地区② ウ地区」を、「渋川地区広域市町村圏振興整備組合 次期最終処分場候補地案」として決定する。

なお、選定した候補地案の位置、概要等については以下のとおり。

【位置】



(町作成)

【概要】

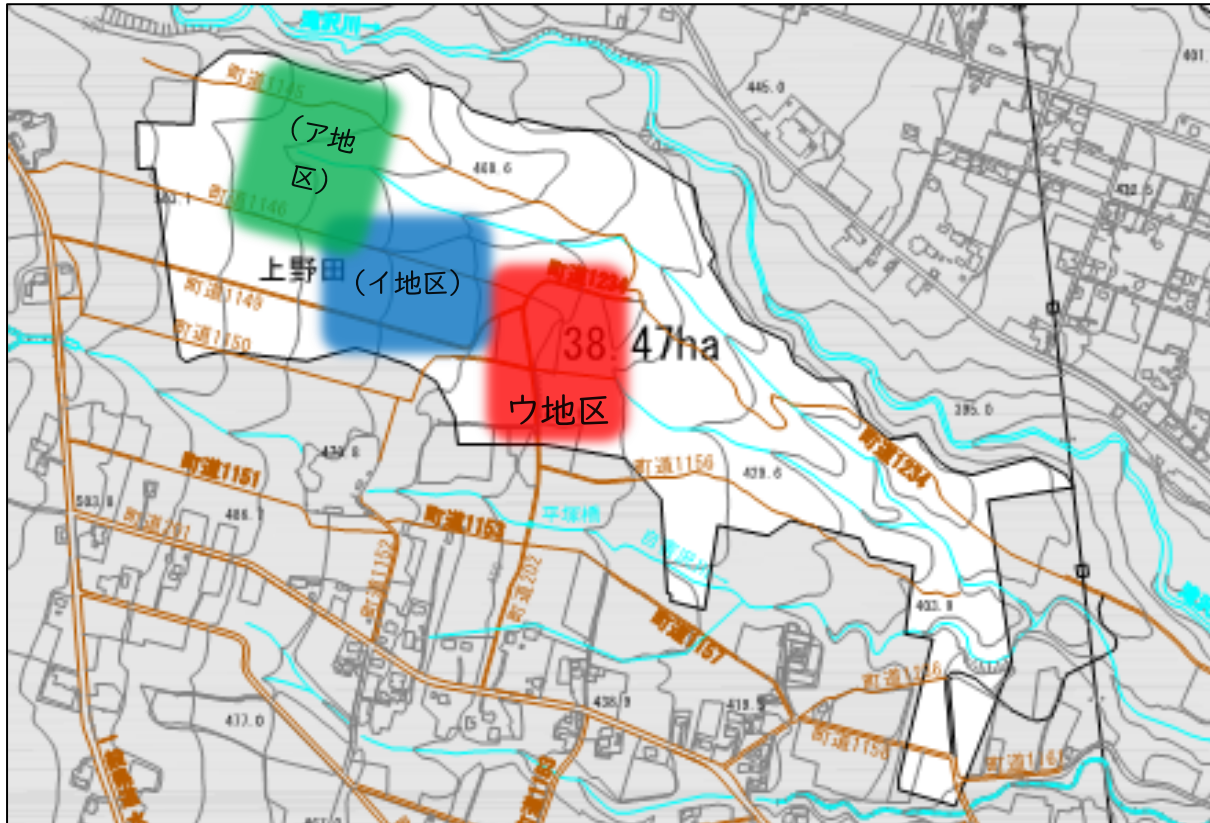
- 想定面積は約4ヘクタール。
- 候補地のほぼ中央で、やや緩やかな斜面にある山林の中に位置している。
- 地区の中に沢のような地形はない。
- 工事や搬入道路として想定している県道水沢足門線からの距離は遠く、町道201号線からの距離は近い。
- 土地利用的には、山林、畑（農振農用地〈青地〉を含む）、原野等となっている。
- 植生自然度は10評価中「6」の植林地と「3」及び「2」の農耕地となっており、答申書にあったレッドデータリストの植物の発見報告があった場所からは最も遠い。

○町としての検討評価

町が協議を依頼した上野原地区②の中から、広域組合では当初5カ所の検討箇所を選定した。そのうち、2カ所は建設に適さないとして除外し、以下の3カ所を評価した中で『ウ地区』を建設適地と考える旨の報告書が町に提出されている。

町では選定を行う自治体の立場から、広域組合が検討した地区について改めて評価を行った。

(比較検討を行った地区)



(町作成)

比較評価の結果、ウ地区は、森林伐採(立木伐採に係る整備コスト)や残地森林(森林法に係る整備コスト)、跡地利用(施設の跡地利用)、安全性(災害対応)、植生自然度とレッドデータリスト(環境保全)の項目で他の地区より評価が高く、搬入路②(道路整備に係る整備コスト)や生活環境への影響②(景観への影響)、農用地区域(農業振興地域整備計画対応)の項目の評価は他の地区より低かった。

なお、土工量(土工に係る整備コスト)、搬入路①(地域に与える影響)、生活環境への影響①(生活への影響)の項目については他の地区と評価が変わらなかった。

以上のことについて総合的に検討した結果、吉岡町としても「上野原地区② ウ地区」が最も有利であるとの評価となった。

よって、渋川地区広域市町村圏振興整備組合から報告された建設適地については、町としても「妥当」と判断する。